

【その他】事務局報告事項

横浜市公共事業評価 事業費の変動に係る対応について

令和8年1月21日

公共事業評価委員会 事務局
(財政局ファシリティマネジメント推進課)

本市の公共事業評価におけるこれまでの事業費の変動(主に増加)状況等を分析し、発生状況や要因を踏まえ、事業特性を踏まえ以下の2つの視点で、必要な対策を実施

- ◆ 主に事前評価段階における**設計・計画精度を補うための対策**に取り組む
- ◆ 加えて、評価時点やそれ以降で事業費に大きく影響を与える可能性のある**リスクとその対応状況やその影響度の見える化など、リスク管理への対応**を充実

【対策のイメージ】

【計画等の精度向上】

- ① 事前チェックリスト
- ② 事前調査
- ③ 事後評価のフィードバック
(事前チェックリスト、リスク分析)
- ④ 事業費算出方法の見直し

【リスク管理】

- ① リスク分析
- ② 費用便益分析
(市営住宅以外のハコモノを除く)
- ③ 事業費管理の充実
大幅な増額が判明した場合は、事業採択や前回評価の実施時期にかかわらず、速やかに再評価を実施

➡ **基本的に令和8年度から審議する事前評価から適用**

これに伴い、再評価に関する要綱・要領の一部改定を予定 (R8.4 予定)

【計画等の精度向上】

①事前チェックシート

事前評価

- ・事業費算定の精度向上を図るため、事業費増の事例を踏まえ、事業費増の抑制につながる視点を当初計画時点でチェックリストにて、確認（今後も定期的に、ブラッシュアップ）

②事前調査

事前評価

- ・既往の資料の収集と活用を徹底。
- ・今後の本調査の結果によっては事業費増のリスクが高い要因は、可能な限り前倒しでの本調査実施を検討（市有地等で対外的制約がない場合等）

③事後評価のフィードバック

事後評価（事前評価）

【事後評価】時

事業費の上振れが発生した根本原因の
分析と課題、今後の対策の振り返りを徹底

フィードバック

精度の向上

（同種事業の）【事前評価】時

事前チェックシートおよびリスク分析表へフィードバック

④事業費算定方法の見直し

事前評価

- ・事前チェックシートやリスク分析の結果から事業費への上振れリスクの影響度等を踏まえ、これまでの実績や経験値なども考慮した事業費の算出を検討。

【リスク管理】

⑤リスク分析

事前評価

再評価

- ・評価時点で、費用を計上していなかったリスクが顕在化し、事業費が増大している事例もあることから、リスクへの対応を強化するため、事業のリスク分析※を実施（リスクへの対応状況の見える化）。

※設計（計算）や関係機関との協議等の段階を踏まえた条件の確度、事前調査の結果や既往調査資料の状況を踏まえた増額変更リスク等への対応状況など

⑥費用便益分析

事前評価

再評価

事後評価

- ・費用便益分析およびリスク分析結果を踏まえた変動幅の設定による感度分析を実施し、リスクに対する影響度を見える化。

⑦事業費管理の充実（事業フェーズ毎での事業費精査）

再評価

- ・基本設計完了時、詳細設計完了時、用地買収・調査実施時、工事発注時、施工中、工事完了など、事業フェーズの移行段階において工事費のみならず総事業費や事業工程を確認を徹底。
- ・事業費等を精査した結果、事業費の大幅な増額等が見込まれる場合は、事業採択や前回評価実施からの期間にかかわらず、速やかに再評価を実施。

➡ 令和7年度以前に審議している案件については対象外とするが、事業費の大幅な増加の生じている事業については状況を一括報告を予定

R7 2/14

R6 第3回 公共事業評価委員会 報告

▶事業費の変動（増加）への対応を検討していく旨を報告

昨年度

R8 1/21

R7 第3回 公共事業評価委員会 報告（本日）

▶対応の内容を報告

今年度

R8 4/1 予定

- ・上振れ対策 適用開始（R8事前評価審議案件より）
 - ・改定予定
 - ▶ 横浜市公共事業評価実施要綱
 - ▶ 横浜市公共事業評価実施要綱事務取扱要領
- ） 適用開始

来年度
予定

R8 7月頃 予定

R8 第1回 公共事業評価委員会 報告

▶要綱等の改定について

R8 10月以降 予定

R8 第2回 以降に報告

▶R7以前に審議した事業について事業費の増加状況について一括報告